



Weekly Report

超我の奉仕

2005～2006年度
国際ロータリーのテーマ
超我の奉仕

2005～2006年度
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：守谷 巖樹
幹事：鈴木 幹雄
会報委員長：長坂 邦雄
例会日：毎週木曜日 PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋
事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL:052-211-3803
FAX:052-211-2623
MAIL:2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL:http://www.mizuho-rc.jp/

▶ 第1270回例会

ロータリー雑誌月間

2006年4月20日(木) 晴 第38回

- 司会：(岩田修司会場副委員長)
- 体操：ストレッチング(佐藤一郎会場委員)
- 斉唱：「それでこそロータリー」
- ビジター：名古屋南RC 近藤禎男君
(倉澤 寛親睦活動委員)

▶ 会長挨拶

守谷巖樹会長

私の職業は、通称鍛冶屋と呼ばれております。鍛冶というのは、日本では砂鉄から踏鞴(たたら)で鉄を作り、それを打って武器や農機具に加工するまでのことを言っていました。時代と共に分業が進み、刀鍛冶、野鍛冶などが独立するようになり、これらを小鍛冶と呼ぶようになりました。踏鞴で作った玉鋼を取り、残りの銚などから打ち加工して鍛鉄(包丁鉄)をつくる工程を大鍛冶といい、両者とも現在ほとんど使われない言葉になりました。現在では、もと京都三条の小鍛冶宗近があまりにも有名なので、この人の流れを汲む刃物師や鍛冶屋を小鍛冶といっております。小鍛冶といえば、能楽で演じられており、西川流の踊りの出し物にもあります。能の小鍛冶のあらすじを申し上げます。



一条天皇は夢のお告げにより、京都三条の名工小鍛冶宗近に剣を打たせる勅を下しました。しかし宗近は、自分に劣らぬ者が相槌を務めてくれないと不可能、と途方に暮れ、氏神であった稻荷明神へ祈願に出掛けますと、童子が現れ不思議にも勅を受けた事を知っており、宗近に語り始めました。「漢の高祖はわずか三尺の剣でやすやすと秦の乱世を治め、隋の煬帝は、けいの剣で周の天下を奪い、後唐の玄宗皇帝の時にも剣の徳で皇帝が守護されました。悪霊や鬼神のような恐ろしい者でも剣の光には恐れをなして危害を加えることができないのです。」そして、日本武尊の草薙の剣の話を話し、今あなたが打つ剣もそれに劣らぬ剣だから、心配しないでお帰りなさいと、童子は稲荷山に消えていきました。宗近は、しめ縄を張った壇をしつらえ、仕度を調べて祝詞を唱え待ち構えておりますと、稲荷明神の使わした狐が現れ、この狐が相槌となり剣を打ち上げたのです。表には小鍛冶宗近、裏に子狐と銘を入れ、狐は稲荷山に帰っていきます。剣には雲を乱したような乱れ模様があって天の叢雲の剣もこのようであったと思われるほどだったとのことです。

昔は支配者にとって威徳を表す名剣が必要で、その剣を打つにはいかに優れた相槌が必要かという例えと言えます。どうか皆様の良い相槌を大勢作って下さい。

▶ 出席報告

亀井直人出席副委員長

会員74名 出席57名 (出席計算人数55名)

出席率76.36%

4月13日は補填により 92.73%
4月6日は補填により 100%
3月30日は補填により 98.18%

▶ 幹事報告

鈴木幹雄幹事

- ・4月13日の臨時理事会にて、台北延平RCウェルカムパーティー費用として30万円以内でニコボックスから拠出が承認されました。
- ・4月27日は、4月23日(日)に開催される春の家族会の振替で休会となります。
- ・4月29日(土)から5月7日(日)まで事務局はお休みとなります。
- ・従来の「会員増強」は「会員増強および退防」に、「クラブ会報」は「クラブ広報」に、「長期ビジョン」は「長期ビジョン(クラブ管理運営)」に名称を変更致します。また、新たに「奉仕プロジェクト委員会」を設置し、委員長は田口豊君、副委員長は高須洋志君、委員は高村博三君、稲葉徹君、倉澤寛君にお願いします。新入会員の入山治樹君はクラブ会報委員会と親睦活動委員会に、梅村昌孝君は会場委員会と環境保全委員会に配属します。



▶ 臨時例会変更のお知らせ

名古屋北	5/19(金)		6/2(金)
名古屋東	5/15(月)		
名古屋東南			5/31(水)
名古屋名東	5/16(火)		
名古屋名北		5/24(水)※	
名古屋大須	5/18(木)※		
名古屋名南			5/30(火)◇
名古屋昭和	5/15(月)※		
名古屋西南		5/25(木)	
名古屋東山	5/18(木)		
西春日井	5/16(火)	5/23(火)	6/6(火)
尾張中央	5/17(水)	5/24(水)	
豊山一城北		5/23(火)	5/30(火)
名古屋葵			6/1(木)※

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。
◇はサイン受付時間が17:30～18:30となります。

▶ ニコボックス

岡村達人ニコボックス委員

- ・4月10日は結婚記念日でした。森 恒夫君
- ・結婚記念日の月です。佐藤 善乙君
- ・4月23日は18回目の結婚記念日です。倉澤 寛君
- ・4月29日は結婚記念日です。西 初彦君
- ・結婚記念日と妻の誕生日を忘れていました。急いでケーキでフォローしました。遠山 堯郎君
- ・本日ロータリーバッジを忘れました。八木沢幹夫君
- ・岡村さんと目が合いましたので。岡本 忠史君

・本日の卓話を岩崎さんにお願ひしました。よろしくお願ひします。

加納 裕君

・ホテルの最後の“むしあげ”が終わり、観賞会が楽しみです。

松岡 道弘君

・疲れております。岩崎さん、卓話を楽しみにしております。

内田 久利君

・5月5日(金)、中京テレビ夜11時から「未来創造堂」という番組で父のことを取り上げてくれるようです。起きていたら見てやって下さい。

水谷由紀夫君

委員会・同好会報告

親睦活動委員会：伊藤 豪委員長

4月23日(日)の春の家族会は、8時30分までに瑞穂グラウンドの駐車場へ集合して下さい。そこからバスで出発いたします。皆様遅れないようお願いいたします。

卓話

岩崎道夫君

「最近のジュエリー・ダイヤモンド事情」

私の商売は、ダイヤモンドの素材をイスラエルやベルギーなどから輸入することです。本日は宝石の最新事情をお話します。宝石はカラーストーンとダイヤモンドに分かれます。



まずカラーストーンについてですが、カットや研磨のほかに手を加えられているものが大変多くあります。例えばエメラルドは、石自体にひびが多く、松ヤニの一種であるセダーオイルというものを、研磨したあとに染みこませると、エメラルドの屈折率とセダーオイルの屈折率が同じですので、あたかも最初からひびがなかったかの様に仕上がります。これは50年以上前から行われていることです。ですからエメラルドを熱いお湯に入れたり、熱したりすると油がしみ出てきて、石自体が白っぽくなる可能性があります。昔はエメラルドだけでそういったことが行われていましたが、現在ではルビーやサファイヤなども、何らかの形で手が加えられています。ですが手を加えているからと言って粗悪なものであるということではありません。例えばルビーですと500度ぐらいの低温加熱を施しますとピンク色やグレーがかかった石が真っ赤に発色したり、あるいはサファイヤなどもブルーの濃い色になったりします。それをまた2100度ぐらいにまで温度を上げ、その脇にベリリウムやコバルトのパウダーを置きますと、2300度ほどのつぼの中で、ベリリウムやコバルトのパウダーがガス化して石の表面を覆い、あたかも今までの色が、違う色になったかの様にきれいに見えます。その様に一旦色が付きますと、二度と元の色には戻りませんが、表面拡散の場合は磨き直しをしますと元の色が出てきてしまいます。ですがほとんどの石は元素から変化してしまう場合があるので、色は変わりません。この技術が発表されたのは、20年以上前ですから、20年以上前に購入されたルビーやサファイヤに関しては、極めて天然のままであると思います。日本の業界では手を加えたものは必ず情報を開示して販売して欲しいと、常々生産地と研磨地には情報を出しているわけですが、中には香港を経由したり、あるいは違う国を経由したりして、元の石の色が粗悪なものを、色を変えて販売する場合がありますのでお気を付け頂きたいと思ひます。

日本の養殖真珠は、その名のごとく養殖をしております。アコヤ貝に、アメリカのミシシッピ川に生息する、カラスガイの貝殻を削った核を入れて真珠をつくります。そういった意味では養殖真珠は天然のものではありません。ただその真珠の養殖も、浜あげしますと不純物が付着していたり、海藻が付いていたりのものもあるので、温アルコールで洗浄したり、あるいは漂白剤を入れて染み抜きをしたりします。その直後に少量食紅を入れてピンク色にしたりすることもあります。ですから色が付いているから高価だと言うことはありません。

ダイヤモンドについても同じようなことが言えます。今の技術ではダイヤモンドの色を抜くことも足すこともできます。色を抜く作業は2300度・8万気圧の状況下に数時間置きます。すると茶色いダイヤモンドが真っ白に変色することもあります。ただしこれはダイヤモンドの種類によります。それから合成のダイヤモンドもあります。販売するときは、どういった加工を施しているか、断りを入れて販売する様に指導しております。ですから信頼の置ける宝石店や百貨店などでお買ひ求め頂くのが安全かも知れません。

去年イスラエルへまいりました。毎年何度か訪問しますが、去年から今年にかけてテロが多発しております。イスラエルは出入国の厳しい国で、ヨーロッパの経由地ではチェックインの前に、渡航の目的やチケットの購入先、イスラエルでは誰と会うのか、はてはプライベートに及ぶ事まで質問されます。そして荷物はずっと携行していたものか、人から預かった物ではないか、プレゼントされたものは持っていないかなど10分ほど聞かれ、それと同じ質問を別の人物から再度聞かれます。ですから出国、入国ともに時間がかかりますので予定の時間より早めに準備をしなければなりません。

イスラエルは四国程度の小さな国ですが、言語も文化も全く違うのですが、まずは食べ物の話をしたいと思ひます。イスラエルではユダヤ教の食事の戒律に則った食物を「コーシャフード」といいます。イスラエルに乗り入れている航空会社の機内食もコーシャの戒律に則った食事が出されます。野菜や果物はどれを食べても問題はありません。動物はひづめが割れていて、なおかつ反芻する動物、牛、山羊、羊、鹿などは食べることができます。専門家によって特殊な方法で処理され、宗教家がお祈りを捧げたお肉だけが食肉として扱われます。魚についてはひれと鱗があれば問題ありません。鳥はほとんどの種類で問題はありません。それから肉と乳製品を一緒に食べることは禁じられております。イスラエルのレストランはコーシャが95%ぐらいで、和食にかぎらず、イタリアン、フレンチ、中華の全てはコーシャが使われています。

イスラエルの気候は4月から11月が乾期で、12月から3月までが雨期です。昨年は秋口と7月にイスラエルへまいりましたが、7月はテルアビブ市内で36、7度で、車の冷房はほとんど効かない状態です。産業についてはダイヤモンド産業が第1位です。その次にハイテク産業が続きます。その他にクロレラや、果物、蜂蜜やローヤルゼリーも有名です。徴兵制があり、男性は18才から3年間、女性は18才から21ヶ月間の兵役義務があります。男性は51才になるまで年間最大39日間、予備役として務める義務があります

ゴルフ例会

4月例会(277回)

4月11日(火) 於:三好C.C

参加者7名

(敬称略)

		OUT	IN	GROSS	H'CP	NET
優勝	長坂邦雄	42	46	88	12	76
2位	高須洋志	54	51	105	26	79
3位	松岡道弘	47	49	96	16	80
4位	堀慎治	44	43	87	2	85
5位	野崎洋二	47	51	98	8	90

雨にも負けず、風にも負けず、第277回ゴルフ例会が三好C.Cにて開催されました。参加メンバー全員が、18ホールのプレーを目指して頑張ろうとしましたが、残念ながら2名の方が終了することができませんでした。そんなコンディションの中、冷静なプレーを続けられた長坂君がネット76の成績で優勝されました。日頃の練習の成果が、見事優勝につながったのではないのでしょうか。

今週行事

4月23日(日)

春の家族会：京都「萬亀楼」と都をどり鑑賞

次週・次々週予定

4月27日(木)・5月4日(木)

休 会：(4月23日の振替および法定休日により)

次回卓話

5月11日(木)

会員卓話：馬場將嘉君

テ - マ：「ねじのいろいろ」